



第45回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）

に参加しました！！

10月20日（日）、いすみ市を会場に第45回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）が開催され、今回は生活協同組合コープみらい千葉県本部が物資輸送訓練に参加しました。今回の物資輸送訓練は能登半島地震の教訓を元に陸路の搬送に加えて、海路の搬送もおこなわれました。また、能登半島地震で物資集積拠点で運営した佐川急便株式会社から能登半島地震の被災地での活動を踏まえた物資集積拠点の運営のノウハウに関する講座が実施されました。

当日は、地域の自主防災組織の方や会場となった大原中学校の生徒が参加し、「物資集積拠点の運営講座」を聴きました。講座の中では能登半島地震の被災地で実際に起きた問題として、飲料のケースを高く積みすぎたために床が抜けてしまった事例や重い物資を床に直置きしたので移動にかなりの労力が掛かってしまったことが報告されました。また、体に負担が掛からない荷物の持ち方や共同作業による荷物の運び方なども学びました。

講座終了後に実際に物資をトラックから荷下ろしをして、所定の保管場所に運びました。千葉県生協連の他に佐川急便(株)、(株)ローソン、トラック協会等のトラック6台が飲料水や缶詰、アルファ米、パン等の商品を運び、地域の方や中学生が荷下ろしをおこないました。



物資集積拠点の運営講座



物資を運搬する様子